

わが議員団は京都府高齢者対策大綱、京都府医療計画が結局のところ福祉・医療の切り捨てに過ぎないことを暴露するとともに、新婦人行動計画、パート対策、共同作業所の助成拒否、骨髄バンク設置など府民にとって切実な問題を提起し、その実現を迫った。

### 教育長が教組を「ナチス症候群」と暴言

六、一連の問題発言を行った教育長に対し、文教常任委員会が「ムジナ」発言の取消しを要求するなど、責任を追及したが、教育長は「記憶がない」と曖昧な態度をとる一方、「奥丹教組はナチス症候群」と再び暴言を吐いた。わが議員団は、教育行政の責任者として全く相応しくないものとして撤回を求め、徹底して追及した。

また京都団体の問題点と今後のスポーツ振興策を提起した。

### 大企業本位の開発政策を批判

七、わが議員団は今次定例会と決算審議を通じて、以上の他、学研都市、リゾート構想、鴨川改修問題、第一

外環問題、林地開発、ゴルフ場開発、丹後国営農地開発事業の公害問題など自民党府政の大企業本位の開発政策をきびしく批判した。

### 命と暮らしに冷たい府政

八、与党議員のインフルエンザ予防接種の副作用による死亡の責任は「金では解決できない、誰がどう責任をとるのか」との質問に、衛生部長は「死亡」時金及び葬祭料の給付が行われることになっている」と平然と答弁したが、これは自民党府政が府民の命と暮らしに冷たいかたちを如実に示すものであり、同時にこの発言をなんら問題にすることなく受け入れる与党のなれあいを暴露するものとなった。

九、本年最後の定例会を終わり、知事選挙まで残すところ一年余となった。また来年は参議院選挙、引き続き京都市長選挙がたたかわれる。わが議員団はこれらの選挙に必ず勝ち、民主府政の回復、国政の革新のために広範な府民とともに府民の利益を守って引き続き全力挙げて奮闘する決意である。

以上

## 天皇死去に伴う知事の対応について の申し入れ

一九八九年一月七日

京都府知事 荒巻慎一殿

日本共産党・革新共同京都府議会議員団

本日、天皇が死去した旨発表された。天皇の病状悪化が伝えられて以来この三カ月余の間、病状報道をはじめとする異常な天皇美化キャンペーンが行われ、政府、地方自治体と議会も憲法の国民主権の原則を踏みにじり、天皇の元首化に道を開く反動的対応をすることによって、天皇礼賛があたかも国民世論であるかのような雰囲気醸成に努めてきたことは、極めて遺憾である。

天皇が死去した現在、政府、自民党をはじめとする改憲勢力による憲法違反の天皇礼賛、元首化の言動、大キャンペーンと、国民に対する服喪の押しつけがこれまでの何倍もの規模で強行されること予想されるが、このような事態は国民主権の憲法の立場とは全

くあいれないものであって、絶対に許すことが出来ないことは言うまでもない。

以上の立場から左記の通り申し入れるものである。

#### 記

一、弔意表明など憲法違反の行為を議題とする府議会臨時会は招集せず、開催の請求が行われても、これに応じないこと

二、歌舞音曲の停止など、服喪や「自粛」を当然とする反動的キャンペーンに同調する弔意表明などは行わず、慎重に対処すること

三、政府の動向にかかわらず、本府が予定している行事などはすべて予定通り実行すること。また本府の施設を使用して開催を予定されている行

事について、自粛や変更を求めないこと

一、民間の各種の催事が予定通り行われるよう知事として申し入れるなど、明朗な府民生活が通常通り確保されるよう努めること

以上

議員団はこの日、府教委に対しても同趣旨の申し入れをおこないました。(なお、府教委には教職員・生徒への弔意の強要をしないことも申し入れております)